

# リノベートニュース

令和8年3月号 NO.286

「自賠責保険の引上げ」の波紋：2026年1月から自賠責保険料が6～7%の引上げになりました。自賠責保険は車検時に強制的に加入するもので、車検切れ期間の2か月前から車検を受けることが出来ます。これは整備事業者の仕事を円滑に運ぶための施策です。例年、年度末の3月は特に車検が集中するので整備事業者は早めの車検整備を推奨しています。ところが前倒しで車検を受ける場合は、値上げ後の保険料が適用されるため、膨大な保有台数を抱える大手リース会社は、前倒し車検を取りやめ、ぎりぎりのところで車検を更新する戦略に切り替えています。その結果、1月～2月の整備業界の入庫台数は減少しています。その減少分が3月に集中するのではないかと平常時でも不足している整備士のやりくりには事業者の悩みは増すばかりです。

## 豆知識 クラウン セダン AZSH32、KZSM30、R5.11～と クラウン クロスオーバー TZSH35、AZSH35、R4.9～のミラーの相違点

外観は同一ですが、セダンの受け側がキャラクターラインに合わせて段があるデザインです。



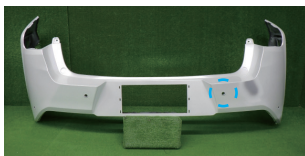
セダン外観 (AZSH32)

セダン

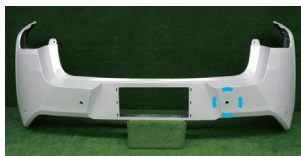
クロスオーバー

## 豆知識 レクサスUX Rバンパーの年式による相違点

前期 H30.11～R6.1 (MZA10、MZA10・15、KMA10)	内よりのソナーの位置と大きさに違いがある
後期 R6.1～ (MZA11・16、KMA10)	内よりのソナーの位置が前期よりも少し下へ (外径も少し大きくなる)



前期



後期

## 豆知識 トヨタ カローラ クロス 前期・中期 (ZSG10、ZVG11、ZVG15) R3.9～R7.5 と 中期のみ (MXGA10、ZVG13.16) R5.10～R7.5、 後期から (ZVG13.16、MXGH15) R7.5～の ドアミラーの相違点



前期・中期

中期

後期

## 今月のカイゼン

改善前：ライト本体の大型化が進み特大サイズ（160）の使用頻度が上がっているが、ライト本体の厚みが様々で箱内部の上側に10cm程の空間が生まれ、運送中の破損事故につながる原因になっていた。

改善後：箱の上部から8cmのところに高さを調整する野線を入れた。

効果：野線を入れたことで無駄な空間を作らずに済み、緩衝材も少なく運送事故リスクも軽減することができた。



## バッテリー交換

バッテリーの交換時期は、エンジンのかかり具合が悪かったりするので気が付きませんが、冬の猛烈的な寒さ、夏の猛暑などに見舞われると、弱っているバッテリーは前触れもなく音を上げてしまいます。この冬、当社の車両も寒さによるバッテリー上がりが発生、これをきっかけに全社有車のバッテリーを総点検して古く電圧の低いものは交換しました。また日常点検にも「エンジンのかかり具合」をチェック項目に加えまして、注文した新車の納期が遅れてついつい古いバッテリーのまま乗り続けることも原因の一つとなっています。

## 「カイゼン」表彰

令和7年度（1月～12月）のカイゼン数は21件でした。内訳は「労務の無駄」11件、品質アップと安全衛生は各3件、顧客管理は2件、クレーム防止・経費の無駄は各1件でした。社長賞は「該当なし」でしたので、生産部長賞1件を紹介します。

改善前：ライトの入荷検品作業は当日の荷下ろしの後に始まるため、検品の開始時間が遅れ、午前中で終わらず、当日入荷情報の配信も午後になり遅れていた。

改善後：塗装課・商品管理課の協力を得て、ライト課の検品スペースを拡大、前日に降ろしたコアから検品がスタートできる体制にした。

効果：検品スペースの拡大で前日降ろしのコアと当日分の配置を区分できた結果、朝礼後からすぐに検品ができ、そのあとの入荷登録などが遅滞なく行われるようになった。・・・

各課の協力を得て実現した点が高く評価され生産部長賞に輝きました。



## 月次生産目標の堅持

日々、出荷された商品の補充コアは、当日受注分と一緒に商品管理課のスタッフにより現場に持ち込まれます。各生産部門は、最優先の当日受注分生産の合間に補充コアの生産に努めます。こうすることで、出荷量の多少に関係なく月次の生産量を維持して、その結果として月次生産目標の生産量をクリアしています。補充するコアの選択には、荷下ろし

直後の「売れ筋コア」「品薄コア」は、一番に現場に持ち込まれます。さらに「新型車種のコア」などの他に低価格帯の「現状出し」など条件付きコアの生産も併せて持ち込まれます。生産が終わると美化・登録作業が行われ情報が配信されます。こうした一連の日々の作業が月次生産目標の堅持に繋がっています。

## ビッグ・ウェーブ

営業活動が続いていると「出荷が少ない暇な日」が何日かあります。こうした日の理由には直ぐに思い当たりますが、年に数回ですが「予期せぬ大量出荷」に見舞われることもあります。1件のお客様からの大量受注ではなく、フロントやYahooオークなどからの受注となります。大方の見方として「事故車両の入庫・見積もり」などに1～2週間かかるので、修理が始まるタイミングが重なり部品注文が集中するからだろうか？ということです。連休の後などに押寄せる「恵の大波」として捉えています。できれば、毎日忙しい日々が続いてくれることを望んでいます。



## 冬芽観察会

相談役からの投稿

森にある樹木の名前を同定する手がかりになるポイントは、場所、樹形・樹肌・葉の形・葉の付き方・花序・果実等、があります。ところがこうした名前を断定する手がかりの少ない冬は、枝先の付いている「冬芽」の形から名前を同定します。降雪量の多い時期

にスキー場に出かけると、雪面が地面よりかなり高くなるためにコース脇の木々の枝につく「冬芽」が身近に観察することができます。スキーを楽しみながら・・・木々が厳しい寒さに耐え、春に向けて花や葉を繁らす準備をしている様子がわかります。

## おしる粉

寒い日のデザートは「おしるこ」です。おしる粉作りに欠かせないのが「お砂糖」、なんと2.5Kgを使っておいしいお汁粉が55人分出来上がりました。食後の甘いものは「別腹」といいますが、なんとなく気持ち豊かになるもので、職場でこ馳走になっていることを忘れる一瞬でした。ごちそうさまで～！

